

5

特定健診

平成20年4月より生活習慣病を予防するためにメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診断です。
40歳～74歳までの医療保険加入者が対象の健診です。

検査項目	検査の種類	疾病との関係
問診	問診（服薬、喫煙歴を含む専用問診）	自他覚所見
医師診察	打診、聴診	
計測	身長、体重、BMI（肥満度）、腹囲	
血圧測定	安静時血圧	高血圧・低血圧
尿一般検査	蛋白・糖	腎臓・糖尿
生化学検査	AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GTP	肝臓、胆、全身状態
	中性脂肪（TG）、HDL、LDL（直接法）	動脈硬化
	HbA1c（または空腹10時間血糖）	糖尿病
心機能検査	心電図12誘導	医師の判断により追加

◆メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）

近年、糖尿病などの生活習慣病にかかる人やそれに移行する前段階のメタボリックシンドロームの人数が増加しています。メタボリックシンドロームとは、内臓の周りに脂肪のついた内臓脂肪型肥満に加え、高血圧、高血糖、脂質異常といった危険因子が2つ以上ある状態をいい、40歳以上男性の2人に1人、女性5人に1人がその予備軍といわれています。健診を受け、早期発見、予防に努めましょう。